

令和元年6月12日現在

機関番号：37502

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K16778

研究課題名(和文)芥川龍之介編纂英語副読本についての基礎的研究

研究課題名(英文) Basic Study on THE MODERN SERIES OF ENGLISH LITERATURE edited by Ryunosuke Akutagawa

研究代表者

澤西 祐典 (Sawanishi, Yusuke)

別府大学・文学部・講師

研究者番号：30771133

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,700,000円

研究成果の概要(和文)：芥川龍之介が編纂した英語副読本『The Modern Series of English Literature』(全八巻・1924-5・興文社)について、未邦訳作品を中心に全20篇を精選し、『芥川龍之介選 英米怪異・幻想譚』(柴田元幸氏との共編訳・岩波書店・2018)を刊行した。
また「芥川龍之介編 The Modern Series of English Literatureについて・補遺」(『別府大学大学院紀要』、2019・3)では田端文士村記念館所蔵の序文原稿や全収録作の出典を明らかにした他、「アンソロジスト・芥川龍之介」(『図書』岩波書店、2019・3)では芥川の編纂意図に改めて迫った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

芥川龍之介がその晩年に編纂した副読本『The Modern Series of English Literature』(全八巻・1924-5・興文社)は、芥川を理解する上で非常に重要なアンソロジーである。今回の研究における成果として、全51篇からなるこのアンソロジーから未邦訳作品を中心に20篇を精選し、『芥川龍之介選 英米怪異・幻想譚』(柴田元幸氏との共編訳、岩波書店、2018)として上梓した。芥川と各作品・作家との関連も同書に記した。これにより、芥川が旧制高等学校の学生(現代の「大学生」)のために選んだ作品群を広く知ってもらえる機会を作ることができ、新聞・雑誌等でも多数取り上げられた。

研究成果の概要(英文)： About the English side reading books "The Modern Series of English Literature" (all eight volumes, 1924-5, Kobunsha) edited by Ryunosuke Akutagawa, I (and Shibata Motoyuki) selected a total of 20 short stories, mainly untranslated works, we published "Fantastic and Horror Stories Selected by Ryunosuke Akutagawa" (co-edit and co-translation with Motoyuki Shibata, Iwanami Shoten, 2018).

Also, in "The Modern Series of English Literature, Addendum" ("The Beppu University Graduate School Bulletin", 2019・3), I gave a reference to the introductory manuscripts of the Tadada Memorial Museum of Writers and Artists, and the source of the entire collected-works of his side reading book. In addition, "Anthologist Ryunosuke Akutagawa" ("Books" Iwanami Shoten, 2019), I approached the compilation intention of Akutagawa.

研究分野：日本近代文学

キーワード：日本近代文学 比較文学 英語教育 イギリス文学 アメリカ文学 アイルランド文学 芥川龍之介 英語副読本

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

芥川龍之介が、旧制高等学校の学生向けに 19-20 世紀の英米作家の作品を集めて編纂した英語副読本 The Modern Series of English Literature (全八巻、興文社、1924-25) は、例えば芥川の「藪の中」の原作とされる、アンブローズ・ピアス「月明かりの道」や O.ヘンリー「運命の道」が収録されていることなどから、一部で注目されることはあったが、具体的な研究はほとんどなされてこなかった。

2. 研究の目的

当該叢書は、英語教育の教材であるとともに、芥川の趣味趣向が強く反映された叢書である。そのことは、全八巻のうち二巻が怪談集 (Ghost Stories) に割かれていることや、「第五巻の序」で芥川自ら「特にこの巻には多きを嫌はず、編者の愛するものを加へた」と述べていることなどからもわかる。

本研究では、芥川と収録された作家・作品との連関を明らかにすることを目的とした。また、刊行後百年近く、忘却されてきた芥川の業績を、広く認知してもらうことも目的とした。

3. 研究の方法

収録された作品について、日本近代文学館や山梨県立文学館に所蔵されている芥川龍之介旧蔵書と照らし合わせ、芥川が参照した書籍 (出典) を詳らかにする。また、芥川が各作品・各作家について言及したことがないか調査する。

4. 研究成果

『The Modern Series of English Literature』(全八巻・1924 - 5・興文社) から、未邦訳作品 12 作を含む、全 20 篇を精選し、『芥川龍之介選 英米怪異・幻想譚』(柴田元幸氏との共編訳、岩波書店、2018) を上梓した。このことにより、芥川が当該叢書のために選んだ作品を (一般読者を含め) 多くの者の目が直接読める形となった。

同書には、芥川と各作品・作家との関連についてもそれぞれ触れた。具体的には、オスカー・ワイルド、ロード・ダンセイニ、レディ・グレゴリー、E・A・ポー、R・L・スティーヴンソン、アンブローズ・ピアス、M・R・ジェームズ、ブランダー・マッシュューズ、セント・ジョン・G・アーヴィン、H・G・ウェルズ、アーノルド・ベネット、マックス・ピアボーム、アルジャーノン・ブラックウッド、ヴィンセント・オサリヴァン、フランシス・ギルクリスト・ウッド、ステイシー・オーモニア、ベンジャミン・ローゼンブラット、E・M・グッドマン、ハリソン・ローズ、アクメッド・アブダラーと芥川の関りについて詳らかにした。また、「あとがき」において芥川とホルヘ・ルイス・ボルヘスの嗜好・読書傾向の重なりについて論じ、芥川と世界文学の交錯について新たな光を投げた。

くわえて、同書末尾には、当該叢書の全巻目次と序文を併録した。最新の『芥川龍之介全集』(岩波書店、1995 - 96) でも、この全巻目次は収録されておらず、序文と収録作を照応させて読むことができなかったため、資料としての価値も付加することができた。同書は、新聞・雑誌等のマスメディアでも多数取り上げられ、研究の成果を広く知ってもらう機会に恵まれた。

その他、「アンソロジスト・芥川龍之介」(『図書』岩波書店、2019・3) では、芥川の『Modern Series ~』の編纂意図に改めて迫った。また、学術論文「芥川龍之介編 The Modern Series of English Literature について・補遺」(『別府大学大学院紀要』第 21 号、2019・3) では田端文士村記念館所蔵の序文原稿の分析や『Modern Series ~』収録作品すべての出典を明らかにすることができたほか、アイルランドのセント・ジョン・G・アーヴィン「劇評家たち あるいはアビー劇場の新作」が、現地の劇評を取り入れながら、どのように作品に昇華させていったか、詳らかにすることができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 1 件)

澤西祐典、芥川龍之介編 The Modern Series of English Literature について・補遺、別府大学大学院紀要、査読有、第 21 号、2019、pp.1-22

〔学会発表〕(計 0 件)

〔図書〕(計1件)

澤西祐典 柴田元幸 他、岩波書店、芥川龍之介選 英米怪異・幻想譚、2018、
pp.4,12,20,34,44,68,86,108,136,160,173,188,222,246,258,272,298,304,314,328,362,3
72,392,409-416

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

澤西祐典、アンソロジスト・芥川龍之介、図書、岩波書店、第843号、2019、pp.22-26
澤西祐典、芥川龍之介 幻の英米文学選集、読売新聞、2018.12.25
(報道)芥川も愛した幻想・怪奇小説 翻訳でのぞく深遠な世界、日本経済新聞、2019.1.29
夕刊
(書評)今月のベスト・ブック(幻想と怪奇) 小説推理、双葉社、2019.1、pp.190-191
(書評)図書新聞、武久出版、2019.2.9
(書評)芥川龍之介選 英米怪異・幻想譚、西日本新聞、2019.2.16
(書評)CREA、文藝春秋社、2019.3
(書評)ダ・ヴィンチ、KADOKAWA、2019.3

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：
ローマ字氏名：
所属研究機関名：
部局名：
職名：
研究者番号(8桁)：

(2)研究協力者

研究協力者氏名：
ローマ字氏名：

については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。